

平成 29 年 12 月 20 日
総合政策局国際政策課
海外プロジェクト推進課
鉄道局国際課

牧野国土交通副大臣がベトナム・タイにおいて 交通インフラ・観光のトップセールスを実施

ーバンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査の最終報告書の手交式等実施ー

牧野国土交通副大臣は、12月12日から12月15日まで、ベトナム社会主義共和国及びタイ王国に出張し、両国政府要人との政策協議を通じて、日本の質の高いインフラシステムの導入が検討されている協力事業の進展や観光分野の交流促進等についてトップセールスを行いました。さらに、タイにおいては、バンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査の最終報告書をアーコム運輸大臣に手交し、日本の新幹線システム導入に向け、今後、タイ政府内で早期に事業承認がなされるよう働きかけを行いました。

<概要>

1. ベトナム

- (1) テー交通運輸大臣との政策協議（ロンティン空港、高速道路 PPP 事業、南北高速鉄道等）
- (2) ハイ文化・スポーツ観光副大臣との政策協議（観光施策、日越外交関係樹立 45 周年の取組等）
- (3) インフラ視察（ニャットン橋）

2. タイ

- (1) ウィラサック観光スポーツ大臣との政策協議（観光施策、日泰双方向交流促進の取組等）
- (2) アーコム運輸大臣との政策協議（バンコク～チェンマイ間高速鉄道、バンコク都市鉄道、高速道路運営・維持管理、スワンナプーム国際空港第Ⅱ旅客ターミナル建設、チャオプラヤ川外郭環状道路放水路等）
- (3) 高速道路運営・維持管理セミナーへの出席
- (4) バンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査最終報告書の手交
- (5) 電子基準点網構築セミナーへの出席
- (6) インフラ視察（バンスー駅、パープルライン、不動産開発地）



バンコク～チェンマイ間
高速鉄道事業性調査最終
報告書の手交式

協議等の概要は別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

○出張全般について

総合政策局 国際政策課 前田、大野

電話 03-5253-8111（内線 25924, 25916） 03-5253-8318（直通） F A X 03-5253-1561

○バンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査最終報告書の手交式について

鉄道局 国際課 村上、畑田

電話 03-5253-8111（内線 40226, 40222） 03-5253-8528（直通） F A X 03-5253-1635

○高速道路運営・維持管理セミナー及び電子基準点網構築セミナーについて

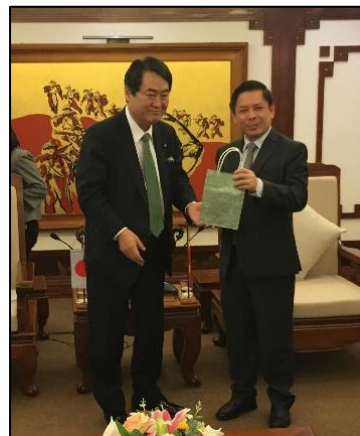
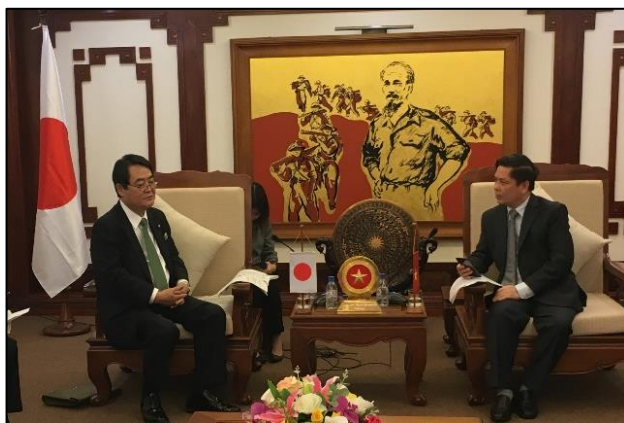
総合政策局 海外プロジェクト推進課 福島（道路担当）、川畑（電子基準点担当）

電話 03-5253-8111（内線 25807, 25806） 03-5253-8315（直通） F A X 03-5253-1562

1. ベトナム（12月13日）

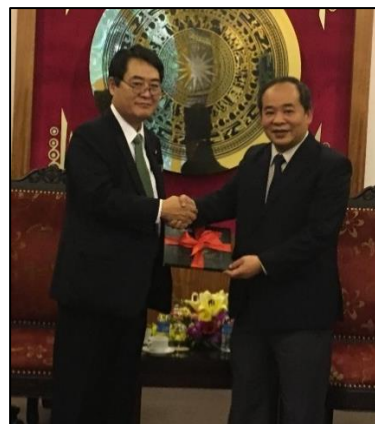
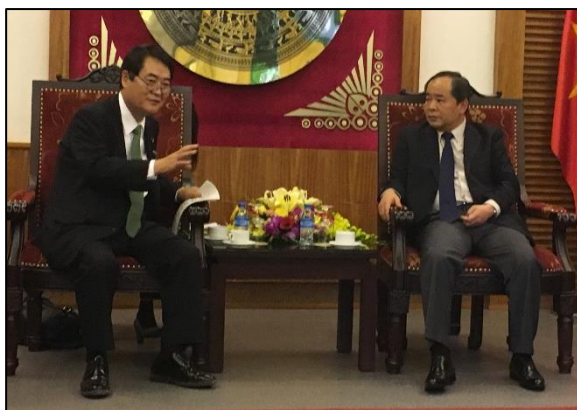
（1）テ交通運輸大臣との政策協議

ロンタイン新国際空港建設計画について、日本企業が参画できるようトップセールスを行うとともに、高速道路 PPP 事業や南北高速鉄道建設計画等の協力事業に係る進捗を確認し、今後も協力関係を強化していくことを確認しました。



（2）ハイ文化・スポーツ・観光副大臣への表敬訪問

両国の観光施策や日ベトナム外交関係樹立 45 周年に関する取組みについて政策協議を行い、今後とも協力関係を強化していくことを確認しました。



（3）インフラ視察

日本の支援により建設されたニャットン橋を視察しました。



2. タイ（12月14日）

（1）ウィラサック観光スポーツ大臣との政策協議

両国における長年に渡る友好協力関係を確認した上で、両国間の双方向交流を促進することで一致するとともに、両国の観光施策に関する政策協議を行いました。



（2）アーコム運輸大臣との政策協議

バンコク～チェンマイ間高速鉄道やバンコク都市鉄道の整備等日本の質の高いインフラシステムを導入すべく議論されている協力事業を進展させるため、政策協議を行いました。さらに、高速道路の維持・管理運営事業及びスワンナプーム国際空港第Ⅱ旅客ターミナル建設事業に日本企業が参画できるよう、トップセールスを行うとともに、バンコクの洪水対策機能を高めるチャオプラヤ川外郭環状道路放水路プロジェクトが進展するよう要請を行いました。

（3）高速道路運営・維持管理セミナーへの出席

本セミナーは、日本の首都高速道路(株)が有する運営・維持管理における技術及び安全対策をタイ運輸省及び関係機関を対象に紹介するものであり、日本からは牧野副大臣及び佐渡島駐タイ王国特命全権大使、タイからはアーコム運輸大臣を始め運輸省幹部が出席しました。冒頭、牧野副大臣からの挨拶の中で、首都高速道路(株)が有する高い技術により、今後、整備が進むタイの高速道路にて、効率的かつ安全な運営・維持管理技術の向上に貢献することへの期待を示しました。なお、セミナーには高速道路事業者やタイ運輸省国道局など、総勢94名が参加しました。

（4）バンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査最終報告書の手交式

日本の新幹線システムの導入を前提に議論を進めてきたバンコク～チェンマイ間高速鉄道について、事業性調査の最終報告書をアーコム運輸大臣に手交しました。両国による本最終報告書のとりまとめは、タイにおける新幹線導入に向けた大きな一歩であり、今後、タイ政府内で早期に事業承認がなされることが期待されます。



アーコム運輸大臣との会談



高速道路運営維持管理セミナーにおける冒頭挨拶



高速道路運営維持管理セミナーの様子



バンコク～チェンマイ間高速鉄道事業性調査最終報告書の手交式

(5) 電子基準点網構築セミナーへの出席

本セミナーは、リアルタイム・高精度測位を実現し、便利で安心な社会の構築に貢献する電子基準点網について、我が国の経験・知見をタイ政府・関係機関に向けて紹介するものであり、日本側からは、牧野国交副大臣、福島在タイ大使館次席公使が出席しました。冒頭、牧野副大臣からの挨拶の中で、複数のタイ関係機関の連携や統合データセンター構築・運用に向けて、国土地理院の先端技術を活用した整備促進を働きかけました。なお、セミナーにはタイの電子基準点網構築に関心を寄せる本邦民間企業や有識者など、総勢78名が参加しました。



電子基準点網構築セミナーにおける冒頭挨拶



電子基準点網構築セミナーの様子

(6) インフラ視察

バンコクにおける新たな鉄道の玄関口として整備中のバンスー駅の建設状況、日本の支援により整備されたバンコク都市鉄道パープルライン（2016年8月運行開始）や、ラマ9世駅付近の不動産開発地を視察しました。

